



- 化学物質管理と排出削減
- 環境負荷化学物質の削減
- 土壌・地下水汚染の調査



化学物質と環境リスクの管理

化学物質を取り扱う企業として、環境汚染を防止することは重大な責務です。

ムラタでは、製造工程で排出する有害な化学物質の管理と排出削減を重要テーマとして取り組んでいます。

環境リスクの回避

環境事故・汚染防止

ムラタでは、化学物質による汚染を重要な環境リスクと認識し、その回避に努めています。特に影響の規模や期間を考慮し、化学物質の貯蔵や事業所内移送に関する設備について、未然防止のための4つの自主基準を定めて対策を実施しています。

産業廃棄物については、国内外ともに法的な許可を有する専門業者に委託し、定期的に委託先処分場を視察することで適正に処理されているか確認しています。また、工場建設の際には、土地の形質変更にともなう土壌汚染などのリスクを低減するため、調査を実施しています。

なお、2008年度における環境事故、環境基準の超過はありません。

未然防止のための自主基準（設備関連）

1. 地下埋設タンクの原則禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液の貯蔵タンク、排水処理の原水槽は地上化を原則とする。やむを得ず地下に設置する場合には必ず二重化する。

2. 浸透防止塗装

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液の取り扱い場所は、浸透防止塗装もしくはステンレス製の受け皿を設置する。

3. 地下埋設配管の禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液、工程排水の移送配管は架空とする。

4. 緊急遮断装置

タンクローリーなどによる新液受け入れや廃液引き抜きの作業場所は、事故発生時の敷地外への漏えいを遮断できる構造とする。



野洲事業所の架空配管



穴水電子工業の緊急遮断弁

地域住民との環境リスクコミュニケーション

ムラタでは、事業活動が地域社会に及ぼすリスクの最小化をCSRの重要な課題と認識し、問題発生時の迅速な対応に努めています。

2008年度は、グループ内で騒音や植栽について4件の苦情がありました。地域住民の方々と相談のうえ、速やかに対応しました。

また、環境保全に積極的に取り組んでいることを地域の方々にご理解いただくため、会社見学会を開催するなど情報の公開にも努めています。



富山村田製作所で開催された地域住民への会社見学会



金津村田製作所で開催された地域住民への会社見学会

Message

自主管理により、積極的・効率的な浄化対策を進めています。

イワミ村田製作所では、1995年から土壌・地下水汚染対策を継続的に実施しています。浄化対策は専門業者との連携により進めており、敷地境界で揚水対策、敷地内で揚水・真空抽出対策を行っています。近年では浄化期間短縮のため、最新浄化技術を導入・実施するなど浄化を促進しています。また、井戸や処理装置の適正なメンテナンスも重要と考えており、専門業者まかせにするのではなく、社内で定期的に運転状況を把握し、タイムリーなメンテナンスを行うことで効率的な浄化対策に努めています。



株式会社イワミ村田製作所
事務課
西本 光興

